

## 令和4年度 第3回 我孫子市環境審議会 会議概要

---

- 日 時：令和5年2月20日（月）午前10時00分～午前10時50分
  - 場 所：水の館 研修室
  - 出席者：9名  
佐々木委員・平岡委員・柄澤委員・宮川委員・吉田委員  
吉川委員・佐藤委員・金子委員・金森委員
  - 欠席者：2名  
石井委員・山田委員
  - 事務局：山本環境経済部長（幹事）  
中場環境経済部次長 兼 手賀沼課長（幹事）  
斉藤課長補佐・海老原係長・野澤主任・初見主任
  - 傍聴者：なし
  - 議 題：（1）第二次環境基本計画（案）について（答申）  
（2）令和3年度温室効果ガス排出量等調査結果について
- 

### 開 会

#### 議 題（議事進行：佐々木会長）

##### （1）第二次環境基本計画（案）について（答申）

##### <事務局説明>

お手元の我孫子市第二次環境基本計画案をご覧ください。

12月に開催された環境審議会では様々なご意見をいただきありがとうございました。前回より変更した点等についてご説明いたします。

主に前回審議会でご指摘いただいた部分についての変更となります。まず全体のレイアウトについてです。前回の案では図表ともにタイトルを上に記載していましたが、下に変更しました。併せて、出典が抜けている図表がありましたので追記しています。また、32ページ以降のSDGsのアイコンについて、線上に配置しサイズも統一しました。

次にSDGsのアイコンについてです。32ページをお開きください。前回ご指摘のあった通り13のアイコンを追加しています。

次に35ページをお開きください。こちらにはフードバンクや食品ロスの削減について掲載していることから、2のアイコンを追加しました。

最後にその他変更点等についてご説明いたします。22ページをお開きください。市内緑地現況図について凡例を追加しました。

33ページをお開きください。市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量の現状値について、数値に誤りがありましたので訂正しました。正しくは2万6512 t-CO<sub>2</sub>となります。

また、個々の目標値について、基本的には令和10年度の目標値を他のところでは掲載することとなっておりますが、こちらは現行のあびこエコ・プロジェクト5の計画期間が令和7年までであるため、令和7年の数値を入れております。こちらの注釈についても下に追記していきたいと思っております。

次に、45ページをお開きください。(1)世界への影響の2段落目のところで、「北極圏の」という文言を削除しました。

続いて62ページをお開きください。こちらは資料編になります。策定経過について、パブリックコメントと第3回審議会のところ「予定」と表記しておりますが、こちらの「予定」という言葉は削除いたします。また、第3回審議会については本日の日付を追記させていただきます。

最後に81ページをお開きください。環境審議会委員の名簿について役職名等を市のホームページの方に掲載しているものと統一させていただきました。その他、一部誤字脱字や文言の調整等を行っております。

なお、この計画案について、1月6日から2月6日までパブリックコメントを行いました。意見等はありませんでした。以上です。

<佐々木会長>

ありがとうございました。

ご説明いただいたことについて、ご意見ご質問のある委員はいらっしゃいますか。

<質疑応答>

○金子委員

計画書の p 8 9 の里山の用語解説に、「済」とありますが、正しくは「木炭」ではないでしょうか。

○事務局

訂正させていただきます。

<佐々木会長>

他に、ご意見はございますか。

(意見なし)

<佐々木会長>

それではこの計画について、審議会として答申を行いたいと思います。

事前に答申案についてご覧いただいておりますが、付帯意見 3 について、「カーボンニュートラルと持続可能性の関係が逆ではないか」というご意見をいただいております。通常は持続可能が上位の目標であり、カーボンニュートラルはその下に位置づけられるものではないかというご意見です。

いただきましたご意見を踏まえ、新たに答申案を作成いたしました。資料をご覧ください。

資料 4-1 が皆様に事前にメールをさせていただいたもので、資料 4-2 が新たに作成した案となります。変更部分に網掛けをしております。こちらについてご意見をいただければと思います。

(意見なし)

<佐々木会長>

それでは資料 4-2 のとおり、答申とさせていただきます。

最終的に取りまとめたものを事務局より委員の皆様へ送付させていただきますので、ご確認をお願いいたします。

(2) 令和3年度温室効果ガス排出量等調査結果について

<佐々木会長>

では、次の議題に移ります。議題の2、令和3年度温室効果ガス排出量等調査結果についてです。事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

皆様の机前にお配りさせていただきました資料、2021年度温室効果ガス排出量等調査結果報告書概要について、ご説明させていただきます。

A3の資料をご覧ください。こちらが、令和3年度温室効果ガス排出量調査結果の概要をまとめた資料となっております。

結論から申し上げますと、令和3年度は温室効果ガス総排出量が2万6512 t-CO<sub>2</sub>であり、基準年と比較して0.9%増加しました。

結果に影響する主な要因としては、一般廃棄物焼却量の増加、小中学校での都市ガス使用量の増加が挙げられます。

施設に伴う燃料の使用は、施設利用に伴う温室効果ガス排出量の9割を占める都市ガスの使用量が増加したこと等により、前年度比で2.9%増加しました。

また、内訳を見ると、基準年度比2桁増減をしたものが散見されました。理由としては、新型コロナウイルスの影響により施設の利用方法や人数が変化したことや、換気を行いながら空調を使用するようになったことが考えられます。

自動車による燃料使用は、コロナの影響でオンライン会議等が増え、出張や遠出が減り車両の利用頻度が下がったことや、車両の入れ替えにより燃費が向上したこと等により、基準年度比11.6%減少しています。

電気の使用は各施設において電力契約の際に電力の排出係数が低い事業者と契約するよう努めたことや、コロナの影響により短縮開館を行った施設があったことから、基準年度比6.6%減少しました。

一般廃棄物の焼却量はライフスタイルの変化により在宅勤務等が取り入れられたことで、家で過ごす時間が増えたことにより基準年度比4.8%増加しました。

し尿処理に伴う温室効果ガス排出量は、児童生徒数の減少により2.1%減少しました。

続いて裏面をご覧ください。

環境への負荷の低減と市民事業者の環境に配慮した行動の促進に係る各指標の達成状況となっております。

環境への負荷の低減については、悪化している項目もあることから、改めて取り組みにご協力いただけるよう庁内への周知方法等について検討していく必要があります。

市民事業者の環境に配慮した行動の促進については比較的順調に推移しています。しかし、ノーカーデーが、コロナの影響により公共交通機関や乗り合いを避ける意識が働き、実施率が40%と下がりました。

引き続き、エコプロ5でも設定した指標に向けて取り組み、周知方法等についても検討していきたいと思っております。

令和3年度温室効果ガス排出量等調査結果報告書については以上となります。

<佐々木会長>

ありがとうございます。ご説明いただいたことについてご意見・ご質問のある委員はいらっしゃいますか。

<質疑応答>

○吉川委員

燃料の使用のところで、基準年からの増減理由として、全庁的に公用車の使用頻度が減少したと記載されており、対基準年増減率で見るとCO<sub>2</sub>は11.6%減少したとありますが、その他（自動車の走行量・HFC）の増減理由として公用車の台数が増加したことにより、対基準年から41.7%増加とあります。この辺はどのように考えればよろしいでしょうか？

○事務局

公用車の走行使用頻度等について、減少はしていますが、その他の項目は自動車から排出されるハイドロフルオロカーボンと関わるものになっておりま

す。公用車全体の利用頻度自体は減っていますが、公用車の台数等については基準年度比から増えたことにより、増加しております。

○宮川委員

ただいまの件と関連しまして、ここは資料の中では非常に注目される場所です。公用車は増加について、私の方でも保育園等で、自動車を持っていなかった施設が保有するようになったという話も聞いているのですが、各部門でどういうところに公用車を増配しているのでしょうか。

ご説明で公用車の台数が実態として増えているとありましたが、福祉関係で職員の方が使用されるケース等が多いとは思いますが。この41.7%という数字は、かなりの量です。これについてはどう理解をすればよいのでしょうか。

○中場幹事

確かに50%近く増加しているというのは、公用車の台数が増えたとしても急激な増加ですので、後ほど台数を確認いたします。そこまで台数の増加はなかったと思いますので、この計算値が正しいかということも含め、後程確認させていただきます。

○宮川委員

ご説明の、台数が41.7%も増加したというのは少し大きすぎる数字なので、後程ご説明いただければと思います。

関連して、以前も申し上げたことがあります。最近他市町村では、市長が使用する車を軽自動車にしたという報道もあったと記憶しています。

皆さまの立場からすると、市長にそういうことはなかなか言えないと思いますので、あえて私が申し上げたいと思います。

こういう地域の立派な方が、環境問題に率先して取り組んでいくという姿勢をお見せいただかないと、この数字を見てもなかなか真剣に取り組んでいるという状況には見えないと思います。

あえて申し上げればそういうことを、ぜひお伝えいただきたいと思います。体面もあるでしょうけれども、そういう一種の見栄みたいなものがあつたとしたら、取り除いていただきたいということを、要望したいと思います。

また、細かい部分ですが、紙の使用量は何故この学校だけが使用量が多いのか、あるいは行政管理課の紙の使用量はかなり高くなっています。コロナのせいもあるのか、その年度の特別な事由があるのかどうか。そういう分析がここでは上がっていません。

もしおわかりになれば、お聞きしたいと思います。

#### ○事務局

はい。紙の使用量については、仰る通り学校が基準年度比と比べてかなり増加していたので、教育委員会に増減理由等を確認してみたのですが、細かいところまではわからないとのことでした。

学校では紙をまとめて購入をしているので、例えばその前年に買ったものが翌年に繰り越しているとその当年の購入数が少なくなったり、またその逆もあるということで、恐らくそのためではないかということでした。

#### ○宮川委員

細かいことをここで聞いてしまい申し訳ありません。さらに気になるのが、この実績をみると、本当に真剣に取り組んでいるのかなど。手賀沼課は所管課として非常に苦勞されていると思います。私も経験がありますが、担当外だと結構無関心なところがあります。

実績については使用した部門で、P D C Aサイクルというか、きちんとチェックして、次年度どうしていくのかということ各部門で検証していく体制を取る必要があるのでは。いくら手賀沼課が旗を振っても、市役所全体の削減というのは難しいのではないかという懸念を感じます。それだけ申し上げて終わりにしたいと思います。よろしくお願いします。

#### ○中場幹事

確かに推進する側としては、全庁的に削減目標を立てて周知を行っているのですが、なかなか目標達成は難しい状況です。今回もCO<sub>2</sub>の削減量は目標値を下回るどころか、オーバーするような形になっています。

担当課としても様々な啓発や周知を行っているところですが、このプロジェクトが開始した頃は、室温を28度に設定しよう、20度に設定しようと厳格

に設定していた時代もあるのですが、エアコンを28度に設定していても、その部屋の状況、例えば老朽化している施設などでは全く効かないこともあります。現在ではそういったことも含め、健康面への配慮を踏まえて啓発しております。

ただ先ほどご指摘いただいた紙の使用量等については部門ごとのチェック機関がもう少し働けば削減できるのではないかと考えていますので、そういった面も含めて啓発指導をして行きたいと思います。以上です。

○宮川委員

ありがとうございました。

○金子委員

資料では全体の積み上げた結果がトータルで記載されており、区分が施設ごとではなく、電気や廃棄物等の区分けとなっていますが、施設ごとの目標値はありますか。

○中場幹事

あびこエコ・プロジェクトの中では部門ごとの目標値もございます。

○金森委員

1つはリクエストです。資料を作る際、1年前の結果も記載していただけるとありがたいです。基準年や目標値と比べることも大切ですが、これまでどのような傾向だったのかなどが、どうしてもわかりづらくなってしまいますので、併せて表記していただけると助かります。

来年度以降ということで、この資料については改めて訂正していただきたいという話ではありません。

また、プラスチックを燃やしてしまうと市の事業においては温室効果ガスの排出に大きな影響を与えるということで、その辺りをどうコントロールするかがおそらく重要になってくるのかなと思います。コロナの影響で在宅勤務が増え、ゴミが増加したということですが、2020年も引き続き同じような結果だったのでしょうか。



#### ○中場幹事

まず過年度分についてですが、あびこエコ・プロジェクト5は今回お示しした令和3年度が初年度となります。前年度までが計画期間のエコプロ4では経年の結果を記載しています。今回もエコプロ4の結果と比較する、あるいは最終年と比較することも考えましたが、エコプロ5からは対象施設が大きく変化したため、比較することは難しいと考え、数値を出しておりません。来年度は令和3年度と令和4年度を比較する形で作成したいと考えております。

次に2020年のプラスチックについては、1800kg-CO<sub>2</sub>になります。2021年の方が、2020年よりも減少しております。

#### ○金森委員

ありがとうございました。2021年の方が2020年よりも、在宅勤務等をされる方も減ってきつつあった状況ですので、大きく減少しているということですね。承知しました。ありがとうございます。

#### ○宮川委員

一般廃棄物のことで、あびこエコ・プロジェクト5の11ページを見ますと、この表の中でプラスチックの焼却、実際どのくらい焼却しているのでしょうか。私の住む地区のケースですと、月曜日と木曜日が可燃物、火曜日が資源ゴミということで、プラスチック類を火曜日に収集していただいています。

清掃事業というのは非常にお金がかかります。その中で収集・運搬・焼却工場の設備は、市の事業として、環境部門としてかなり大きなウェイトを占めている。

この4月から組織改正が行われるということで、審議会にもクリーンセンターの担当者や、責任者の方が出席していただければ、非常に良い議論ができるのではないかと感じます。

というのも、清掃工場の場合、従来だと焼却するために高濃度のダイオキシンが排出されてしまいます。東京の方の清掃工場は周辺への健康被害が及ぶということでかなりの税金を投入して整備していますが、そのためにはかなりの投資が必要になってきます。燃やすだけではなく、付随して資源化施設で収集

したものを資源化していくということも、一つの大きな課題としてあるわけです。その辺のお話を、じっくりお聞かせいただければ、私どもの理解にも繋がるのではないかと考えています。

機械は分別収集していてもプラスチックを分別できるものできないもの、あるいは他のものでも、その行き先は本当にリサイクルされているのかどうか、最終処分はどうなっているのか。非常に興味を持っています。

そういうことも、また改めてお聞きできる機会があればと、お話をさせていただきました。お答えは結構です。

#### ○山本幹事

貴重なご意見ありがとうございました。

環境経済部は、来年度少し組織を変更する予定です。最終的には議会の承認を経て決定されますが、新たに生活衛生課が新設され、そちらにクリーンセンター課の一部と手賀沼課の公害や放射能など、生活衛生的な部門を一つにします。

新たなクリーンセンターは、3月22日に竣工式があります。現在も試験的に稼働していますが、正式には4月から新しい焼却炉に移行します。クリーンセンターのリサイクル資源部門については手賀沼課となりますので、審議会でお話させていただき、様々な意見交換をさせていただけるかと思えます。よろしく願いいたします。

#### <佐々木会長>

他にご意見はございませんか。

引き続き、皆様と様々な審議をさせていただければと思います。

以上となりますがよろしいでしょうか。事務局から何かございますか。

#### <事務局>

はい。まず今回の報告書の概要について、お答えできなかった部分については事務局で確認させていただき、皆様に議事録を送付する際に、回答させていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

また、環境基本計画について、今回、皆様にお示ししているものに市長挨拶や諮問、いただいた答申等を追加し、最終とさせていただきます。

年度中に印刷や製本を行い、4月以降に、委員の皆様にも配布させていただきます。

以上です。

<平岡委員>

先ほどクリーンセンターの話がありましたが、以前環境審議会で見学したいという話が出たかと思います。この場で見学して現物を見られると具体的なイメージが湧くと思うのですが、いかがでしょうか。

<中場幹事>

令和5年度の環境審議会でクリーンセンターの見学を入れさせていただければと考えています。見学後に審議会を開催するというようなことも含めて検討したいと思います。

<平岡委員>

よろしく願いいたします。

<佐々木会長>

以上で環境審議会を終わらせていただきます。

閉 会